

5. 地域包括支援センター

週	課題（ねらい）	実習内容	段階	指導上配慮すること・必要な価値・知識・技術（その他、参考となるテキスト・教材等）
第1週	①地域包括支援センターの法的位置づけと機能、役割を理解する。 ②実習施設内外の関係機関・社会資源を理解する。 ③在宅高齢者の抱える生活課題を理解し、アプローチや支援の視点を養う。 ④地域での地域包括支援センターの関わりを理解する。 ⑤介護予防支援事業所としての業務内容を理解する。	①介護保険法を理解し、3職種それぞれが担う包括業務等の講義を受ける。	職場	・社会人としてのマナー ・事業所内外での連携方法 ・介護保険制度の基礎的な知識 ・日々の業務を知る <参考テキスト> ・地域包括支援センターマニュアル ・春日井市高齢者福祉サービスガイド ・介護サービス事業者ガイド
		②各施設・事業所の法的根拠を理解し、見学や情報収集を行う。	職場	
		③高齢者とのコミュニケーションを通じて、本人の思いや不安を聞き取る。	職場	
		④地域包括支援センターの啓発や周知方法を学ぶ。	職場	
		⑤介護保険サービスや高齢福祉サービス、インフォーマルサービスについて理解をする。	職種	
第2週	①在宅高齢者の生活課題（ニーズ）と支援方法を理解する。 ②地域包括支援センターでの社会福祉士としての役割を理解する。 ③介護予防ケアマネジメントの進め方について理解する。	①自宅などで出向く際に同行訪問を行い、ケースへの対応を学ぶ。	職種	・アセスメント力 ・コミュニケーション技術 ・情報収集 <参考テキスト> ・介護予防ケアマネジメント資料一式
		②ミーティングや会議へ出席をし、社会福祉士として、また組織の一員としての役割や責任を理解する。	職種	
		③契約・認定調査・サービスの選定など、ケアマネジメントに対して理解をする。	職種	
第3 4週	①総合相談業務への対応方法を検討する。 ②介護予防サービス・支援計画表の作成を行う。 ③チームアプローチを理解する。 ④介護予防教室や介護者教室などに参加し、地域住民への活動を理解する。	①ケースへの自分なりの解決策を考える。また、面接技術や進め方を理解する。	SW	・ケアマネジメント力 ・地域福祉 <参考テキスト> ・介護予防ケアマネジメント資料一式 ・介護予防教室資料
		②介護予防サービス・支援計画表が作成できるようニーズの把握やアセスメント等を行う。	SW	
		③関係機関や施設等の業務や連携状況を学び、適切な支援を検討する。	SW	
		④地域に身近な機関になれるよう地域に出向き、地域のニーズの把握や啓発を行う。	職種	
	①作成した介護予防サービス・支援計画表の振り返りを行う。 ②困難事例への対応方法を学ぶ。 ③ネットワーク構築の必要性和方法を学ぶ。	①介護予防サービス・支援計画表に基づき、モニタリングと評価を行う。	SW	・地域への働きかけ <参考テキスト> ・ケース記録 ・高齢者虐待マニュアル ・権利擁護事業資料
		②今までに対応をしたケース記録を閲覧し、高齢者虐待や権利擁護について理解をする。	SW	
		③地域にあるネットワークを理解し、他にはどのようなものが必要か検討をする。	SW	